

# 輸出事業計画

※申請者名：福岡市・福岡冷蔵（株）、品目：水産物

## 1. 輸出における現状と課題

### 【現状】

福岡市中央卸売市場鮮魚市場は、国指定の特定第3種漁港である博多漁港内に位置する昭和30年6月に福岡市が開設した中央卸売市場である。日本海や東シナ海などの水産物が陸揚げされるほか、全国からの陸上搬入による水産物が集積し、250万人を超える福岡都市圏人口への安定供給に加え、他市場への転送や海外への輸出など幅広く出荷されており、水産物の流通・輸出の拠点として重要な役割を担っている。

### 【課題】（福岡冷蔵（株））

- 既存の東冷蔵庫は立体自動倉庫を主体とした保管形態であるため、現在の小ロットで多品目を取扱う流通形態の変化に対応できていない。
- 取扱品目に適した温度環境や、急速冷凍による鮮度を保持した凍結環境が不十分。
- 盛漁期や繁忙期等の庫腹不足が常態化しているなど、市場ニーズに十分に対応できていない。
- 東冷蔵庫（保管機能）と凍結庫（凍結機能）は別々の施設配置となっており、動線が長く、業務効率が低下していることや施設間の露天運搬も発生するため、品質・衛生管理上の課題も生じている。

### 【課題】（福岡市）

- 水産物の輸出増加を目指すにあたっては、輸出に係る知識の習得など 人材育成等が必要であるが、仲卸業者などは小規模経営の事業者が多い中、個別に対応できる事業者は限られており、市場全体の取組に繋げることが課題である。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

### 【取組内容】（福岡冷蔵（株））

- 保管機能と凍結機能が一体化した冷蔵庫施設を新設する
- 閉鎖型卸売場と屋根付き通路で連結した施設とすることで、動線短縮による業務の効率化、品質・衛生管理を強化する。
- 市場ニーズの高いF2級（-35℃）を新設、SF級（-40℃）の庫腹増加による取扱水産物の拡大、急速冷凍機能による生食用の食中毒対策など集荷機能や保管調整機能を強化する。
- 現在、施設認定を取得している韓国、インドネシアの2か国において速やかに再申請を行うことに加え、ベトナム、中国の輸出認定を早期に取得するための情報収集を行うなど、着実に認定要件を履行できるよう準備を行っていく。

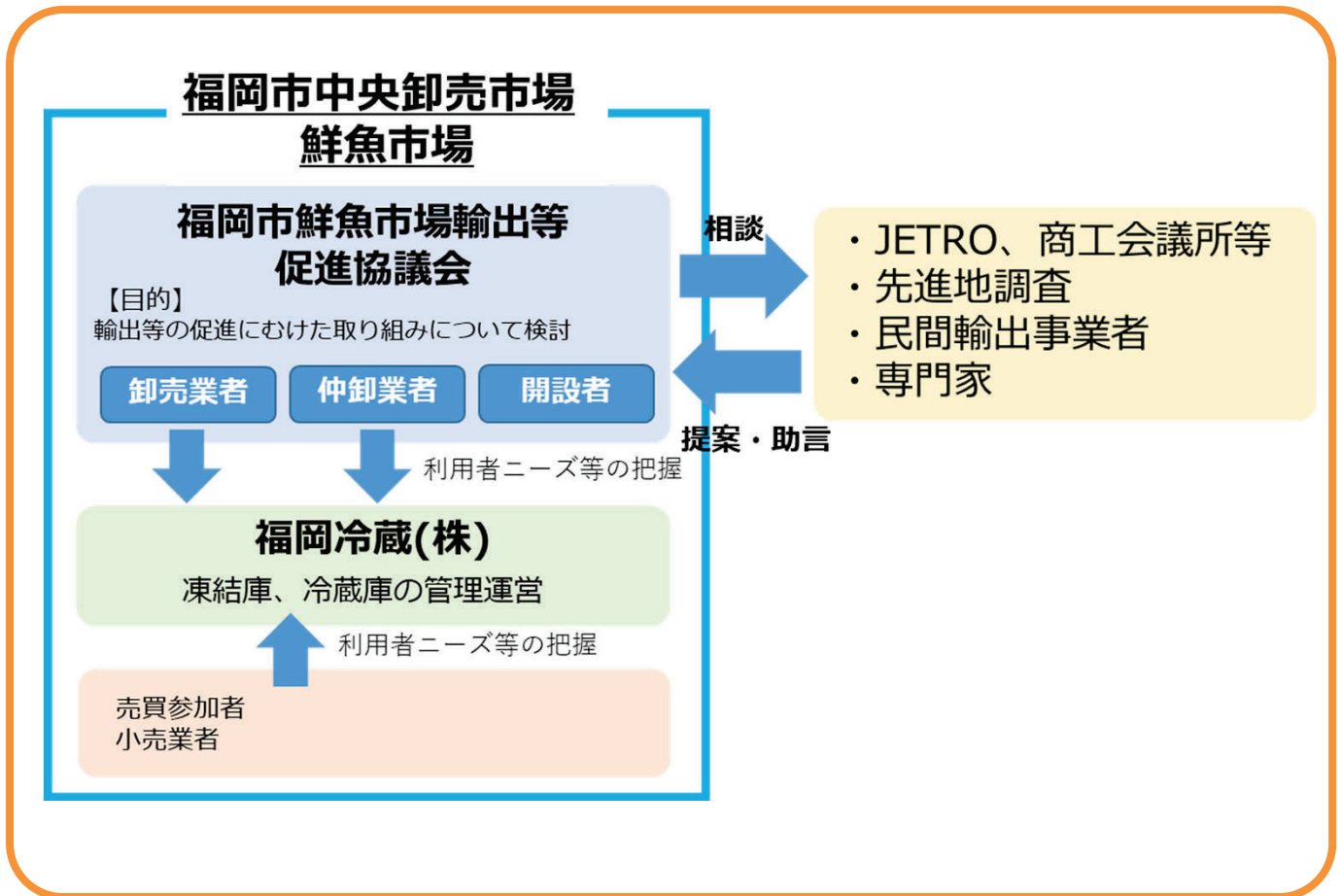
### 【取組内容】（福岡市）

- 機運の醸成や課題に対応するため、卸業者、仲卸業者、開設者からなる「福岡市鮮魚市場輸出等促進協議会」を令和5年1月に設立し、今後、知識習得のためのセミナーや先進地の視察等を行う予定としている。

# 輸出事業計画

※申請者名：福岡市・福岡冷蔵（株）、品目：水産物

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 4. 輸出目標額

		現状 (令和3年度)	目標年 (令和11年度)
東冷蔵庫経由 輸出	輸出額(千円)	486,460	1,089,746
	輸出量 (t)	1,091	2,444
	輸出先国	インドネシア、韓国	インドネシア、韓国 ベトナム、中国